

農業委員会だより

今号の記事：

酪農家インタビュー①・・・・・・・・・・2ページ
酪農家インタビュー②・・・・・・・・・・3ページ
農地賃貸価格変更のお知らせ、活動報告・・・・4ページ

カラーで見たい！
バックナンバーを見
たい！という方はこ
ちらから→



農業委員会だより 発行にあたり

鹿追町農業委員会会長：

菊池 輝夫



日ごろより、地域農業の発展にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

6月も半ばを迎え、小麦や豆類、馬鈴薯、甜菜といった作物が、青々と畑に広がる季節となりました。日差しの強さとともに、作物の生長を実感できるこの時期は、まさに自然の力を感じるひとときでもあります。

今年も天候に恵まれ、皆さまの丹精込めた作物が実り多きものとなりますよう、心よりお祈りいたします。今号では、現場での取り組みや地域的话题を交えながら、農業に役立つ情報をお届けしています。日々の営みに少しでもお役立ていただければ幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

酪農家へインタビュー！

今の農業報道や政策の多くは効率・拡大・スマート化」に注目しがちです。ですが、小・中規模でも持続可能で安定した経営を続けている酪農家もあります。



今回インタビューした人①

鹿追地区 蓮井 友人さん

頭数が少ないからこそ、全部の牛の状態を頭の中で把握できる。」と語るのは、蓮井友人さん。牛の顔や様子を見ただけで、数字では見えてこない体調の変化や調子の良し悪しが感覚でわかります。それは日々、目の届く範囲で、1頭1頭と向き合っているからこそできることです。自分は、他人に任せるのが好きじゃない。全部自分の目で見て、自分のやり方で管理したい。」と今の営農方法に確固たる自信を持っていることを感じます。自分のペースで効率的に仕事を進められる分、家族との時間も大切にできます。蓮井さんの一番のこだわりは“牛づくり”。子牛の時



飼養頭数 127頭
(経産牛 72頭)
(未経産牛 55頭)



経営人数(家族) 4人
+
ヘルパー(都度)

1頭1頭に心を込めるー牛づくりへのこだわり

から丁寧に育て、親牛になるまでの成長をしっかり管理します。特に粗飼料(牧草・デントコーン)をしっかり食べられる体づくりに力を入れています。その結果、1番多い時期から比べて半分程度に配合飼料の使用を抑えながらも、質の高い牛乳を安定して生産できるようになりました。飼料価格が高騰する今、経費を抑えながらの生産が可能です。なのは、大きな強みと言えます。大規模酪農については、平を群で管理できる能力は本当にすごい。でも、仕事も多くなつて大変そうだし、リスク管理も大変そう」と冷静に状況を見ています。これから酪農を目指す人へは、今は社会情勢も不安定で難しい時代だけど、やり方次第でプラスにできる。だからこそ、牛を好きで、酪農を楽しみたいと思える人にやってもらいたい」とエールを送ります。お金は2の次に考えてのんびりやれるくらいがちょうどいい」と、牛への愛情を胸に、自分らしい酪農を続けています。

規模ではなく、目と手で支える



今回インタビューした人②

笹川地区 菊池 洋一さん

そこには忘れられがちな知恵や自分なりの工夫があり、見習うべきことがあると思います。大規模化とは違う現代的な選択肢として、改めて注目してみようという事で、今回インタビューをさせていただきます。

平の顔が見える範囲で、自分の手で全て管理している」そう語るのは、笹川地区の菊池洋一さん。頭数が多い分、仕事量も丁度良くて、自分の時間も作りやすい。何より、自分の目が行き届く規模でしっかり牛と向き合いたい。菊池さんの特徴として牛の健康を支える餌を良いものにするため、“土づくり”に強いこだわりを持っていることです。前は牛が病気がちで、何かを変えなきゃと思った。いろいろ試す中で、牛のご飯である粗飼料(牧草・デントコーン)を良くしようと考えたのが、土づくりを始めたきっかけです。土壌分析を行い、海外の専門家と連



飼養頭数 120頭
(経産牛 80頭)
(未経産牛 40頭)



経営人数(家族) 3人
+
ヘルパー(月に数回)

牛も土も、手が届く距離で育てたい

携して施肥設計を行うなど、手間暇を惜しみません。その結果、粗飼料の質は年々向上し、牛の調子も安定しています。昨今の酪農業界では大規模化が進んでいますが、菊池さんは、規模の大小に良し悪しはない。経営のサイズは個性みたいなもの。自分がやりたいスタイルを大事にすればいいと思います。大きな牧場をしっかりと管理している人も本場にすごい。でも自分は、牛にも土にも目が届く今の規模がちょうどいいんです。」と話します。最後に、これから酪農を目指す人へは、至き物が相手だから難しいところもあるけど、ポイントを押さえればちゃんと儲かる仕事です。自分にもできているんだから、きつと他の人にもできる。大事なものは、生き物を管理しているという責任感。それがあれば、いい経営ができると思います。「目の届く範囲」で牛と土に丁寧に向き合いながら、自分らしい酪農の形を貫く菊池さんの力強い姿勢に、時代に左右されない強い酪農の姿を見ることができました。

令和7年8月1日から参考賃借料が変わります！

地域名	評価	(旧) 基準賃借料 (円/10a)	区分	(新) 基準賃借料 (円/10a)
鹿下 中上 笹北	鹿別第1川追	9,600 8,100 6,600	A	9,600
			B	8,850
			C	8,100
			D	7,350
南北 中東 上幌 美上	瓜瓜瓜幌 幕幕幕幕 幕幕幕幕 幕幕幕幕	8,400 6,900 5,400	E	6,600
			F	5,850
			G	都度
			A	8,400
然別第2	幕幕幕幕 幕幕幕幕 幕幕幕幕 幕幕幕幕	8,400 6,900 5,400	B	7,650
			C	6,900
			D	6,150
			E	5,400
然別第2	幕幕幕幕 幕幕幕幕 幕幕幕幕 幕幕幕幕	8,400 6,900 5,400	F	4,650
			G	都度

農業委員会活動報告

令和7年1月24日に西部地区農業委員会連絡協議会総会・合同研修会に参加しました。研修会では(財)北海道農業公社帯広支所の五十嵐次長様をお招きして「農業経営基盤強化促進等の一部を改正する法律に関する事務処理等について」と題した講演を拝聴しました。令和7年4月より農地の利用権設定の方法が変わることによる事務の変更や考え方について各町の委員・事務局職員と質疑応答し円滑に事務を進められるよう理解を深めることができました。



農業委員会では地域が遵守すべき賃借料の上限額を基準賃借料として定めています。昨今の農業情勢を勘定して令和7年8月1日以降あつせん申し出分より太枠の通りに変更されます。主な変更内容は土地評価を細分化したことです。合わせてその評価をA～Gまでの区分として標記することとなりました。

賃借料については今までのA、B、C、それぞれの差額が1,500円であったことから中間額である750円を差し引いた額となりました。なお区分Gについては都度あつせん委員会において金額設定を行います。

委員長

編集委員会

藤井 史織
島 かおる
坂本 慎一
加藤 元幸
上村 好美

バックナンバー
はこちら！



今号も最後までお読みいただき、誠にありがとうございました。また改めてお忙しい中インタビューのためお時間いただいた蓮井友人様と菊池洋一様にお礼申し上げます。近年の農業界では、スマート農業や大規模営農、若手就農者の増加といった新たな動きが注目を集めています。今号では小規模な営農方法も現代的な選択肢になるということで、従来の営農方法に近い酪農家さんについてご紹介しました。今は興味が無くても、将来の活動のヒントになれば幸いです。さて、ここ最近暑さが続いております。特に屋外での作業が中心となる農業では、熱中症や脱水症状への警戒が欠かせません。作業の合間にはこまめな水分・塩分補給を心がけ、ガーデニングなども早朝や夕方の涼しい時間帯に作業を行うなど、体調管理を第一に考えたスケジュールを組んでいただければと思います。これから本格的な夏を迎えますが、健康と安全を最優先に、充実した農作業が行えることを願っております。

編集後記